

～優秀な成績を取めた皆さん～

後列左から 大熊康之さん、竹之内早苗さん、
(澤井市長)、小坂るみ子さん
前列左から 廣野文代さん、田中知子さん、
山口悦子さん、田村京子さん、
平井傳子さん、河本隆子さん
「第32回日本ベタंक選手権大会」出場



現役のプロ野球選手による指導

市内中学校野球部と小学校の野球経験者を対象に、「ベースボールクリニック」が三宅東公園で開催。今年、現役のプロ野球選手T-岡田さん。そして村上隆行さん、光山英和さんがコーチとなり、最新の技術や積極的に取り組むことの大切さなどを子どもたちに伝えていました。(12月16日)



松原のボランティア団体が集結

市内で活動する市民団体が集まり、活動の紹介や体験、交流が出来る「まつばら ボランティア 市民活動フェスタ2017『集まれば大きな力 はじめの一步』」がゆめニティまつばらで行われました。演奏などのパフォーマンス披露や体験コーナーなど、参加者もスタッフも一体となって盛り上がりました。(12月9日・10日)



次のお正月は手作りの門松で

松原市緑花協会主催の「秋の緑化園芸講習会」が、市民ロビーで開催されました。今回制作したのはミニ門松。参加者は竹の周りに松や花、リボンなどを使い、オリジナルの門松を作りました。(11月29日)



広報まつばらが奨励賞に！

広報まつばら平成29年9月号が毎日新聞社・毎日文化センター主催の「第30回近畿市町村広報コンクール」で「奨励賞」に選ばれました。これからも読みやすく、魅力あふれる広報紙を目指していきます。(12月12日)

人命救助者・初期消火者を表彰

市消防本部は火災現場での消防協力者の3人を表彰、消防長から感謝状と記念品を贈呈しました。(12月1日)

左 林繁孝さん、中 小椋忠さん、右 水迫正和さん

林さんは2階のバルコニーのサンルーフ上で助けを求めている人を発見、はしごをのぼって救助を行いました。小椋さんは町会のホースを利用して地上から2階に放水。その後、水迫さんが架けられたはしご上から放水を行いました。3人の連携で被害を最小限にとどめることに成功しました。



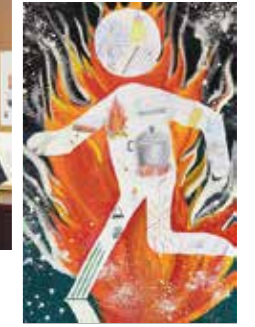
東京2020大会も応援

今回の「松原市障がい者スポーツポッチャ大会」は東京2020大会とつながる「東京2020参画プログラム」として認証。リオデジャネイロ五輪銀メダリストの廣瀬選手や河合監督、東京大会で活躍が期待される高田選手、中村選手が来場するなど、東京2020大会につながるイベントになりました。(11月25日)



障害者と出会い、ふれあう場に

毎年障害者週間にあわせ、市民ロビーで開催される「笑顔 やさしさ ふれあい週間」では、障害者の皆さんによるコンサートや、ワークショップ、お茶席、障害児(者)の皆さんによる作品の展示会などを実施。障害者の皆さんと気軽に交流できました。(12月5日～7日)



防火図画の市長賞を表彰

第17回児童・生徒防火図画の募集を行い、小・中学生あわせて588点の応募がありました。それらの作品の中から松原第三中学校2年生の村井和愛さんが市長賞に選出されました。今回の作品は春の松原市防火ポスターに使用されます。(11月20日)



渡邊啓太さんが平昌オリンピック日本代表に決定！

阪南大学職員の渡邊啓太さんが、12月16日(土)・17日(日)に開催された第40回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会(平昌オリンピックショートトラック日本代表選手選考競技会)の結果を受け、平昌オリンピック日本代表に決定いたしました。